

餅つきに歓声



おやじのかけ声に合わせ「よいしょー！」

□昔ながらのお正月を味わってもらおうと、豊中市西緑丘2丁目の市立少路小学校で10日、恒例のお餅つき大会が開かれた。アメリカンフットボールのパナソニックインパルスの手元にも参加、子どもたちと一緒に力いっぱい餅をついた。

餅つき大会は少路小学校の児童の父親らで作る「少路小おやじの会（宇山陽太会長）」の主催で、学校で開かれるカルタ大会に合わせて毎年この時期に開かれている。子どもたちに日本の伝統風景を知ってもらいたいと2000年から始め、今年が15回目。約100人の父親らは早朝から準備。昔ながらに、まきを釜にかけ、セイロでもち米を蒸し、子どもたちはおやじたちのかけ声に合わせて、臼（うす）と杵（きね）を使って元気よく餅をついていた。